

第3回 江府町学校運営協議会【概要記録】

■期 日：令和2年9月24日（木）

■時 間：19：00～

■場 所：江府中学校 多目的ホール

<会議出席者>

【委員】宮本会長、井上裕吉副会長、井上廉女委員、小椋委員、高津委員、船越委員、藤原委員、中川委員、長岡委員、山本委員、瀬尾委員、竹内委員

欠席：遠藤委員

【事務局】富田教育長、景山課長、岡田主事、森田教頭、山本教頭

1 開 会

会長

今年になってからコロナウイルス対策が何か月も続き、少し疲れたと思っておられるのではないかと思う。薬もできるだろうが、これからは新型コロナウイルスとうまく付き合っていく、あまり疲れないように付き合っていくということが大事だと感じている。みなさまも十分に気をつけられたい。

今日は、まず、分科会に分かれてご意見をいただけたらと思う。お手元に前回の意見をもとに作られた実施イメージが作ってある。今年度も残り半年の中で、1つでもできればと考えているので、部会でも十分に意見を出していただけたらと思う。

※事務局より「新型コロナウイルスに関する江府町宣言」についての説明

2 協 議

(1) 部会協議

事務局 前回、各部から「こういうことができるのではないか」という提案をいただいた。積極的にご発言いただいたことをうれしく思った次第。それを受けて、具体的なイメージを事務局（森田教頭、山本教頭、景山課長）で考え、それに向けた準備等を資料に挙げさせていただいた。残り半年、コロナ禍という中で、どういったものがどういった形でできるのかというのを、もう少し詰めていけたらと思う。本日の資料をもとに、残り半年の中で、今年の学校運営協議会では、これをやっていこうということを決めていただきたい。部会后、話し合いについて報告いただき、全体で協議いただきたい。

会 長 学校運営協議会の目的は「地域とともに、学校とともに」。地域も活性化するし、子どもさんも地域との触れ合いによってよくなるという両方がよくなるということが大前提のもとに、この会が始まったと思っている。できれば、地域を巻き込んだものを1つでもできればと思っている。そういった方向性も考えていただきたい。

※部会協議(30分程度)

○学校行事支援部（高津部長）

○健全育成部（船越部長）

○地域活性化部（小椋部長）

高津部長（学校行事支援部）

野菜作り支援をトライアルで始めてみようという意見が出た。授業の枠組みではなく、放課後やりたい児童を募って、近隣の方もさらに募集して一緒に野菜を作っていく。学校の農園を貸し出して、児童と大人の方が一緒に野菜を作るということを始められたらと思う。初めから募集で大人が集まるのが難しいという意見もあったので、最初は部会とか周りの方、野菜作りができる方に声をかけてやっていけたらという意見が出た。放課後なので15時から16時の活動になる。大人も携わっていくとなると仕事で抜けられないいけないということもあるので、そういったことも今後調整していくのが今後の課題。あとは、高齢者の方で行きたいという方がおられる場合、車が運転できない方の援助というのも課題かなと思う。

会長（資料には）つつじ周辺の整備というのが上がっているが、規模とか学校で考えておられるか。

委員 運動場の法面につつじが植えてあるが、去年きれいに刈ってもらったため、子供がそこに行きたがるようになった。きれいに整備すれば、斜面でも遊べたり、基地を作ったりして、楽しそうに過ごしている。整備して危険がなくなれば、楽しい遊び場になるなど思っの提案。子供も手伝える範囲で。段々にして登りやすくするなど少しずつそういうのが一緒に出来たらいいかなと。ただ大人が来て作業が出来る時間には子どもはもう帰っているということになるので、一緒にすることは難しいかもしれない。ただ、整備すると楽しくなるだろう、安全になるだろうという思いを持っている。

船越部長（健全育成部会）

あいさつ運動とボランティアの2つ話をした。今の子どもたちは、あいさつする場合も昔ほど深々と頭を下げることもなくて、質が違って来たという意見が出ていた。防犯の立場とあいさつの奨励という観点からすると、小学校は4月から通学路に何名かついていっちゃうが、ああいったようなことは大変良いではないかと。それが常時出来たらまた良いじゃないかと。中学生も歩いて登校するので、何らかの形で関わり合うことが出来たら子どもたちも、どこどこのおじさんだ、おじいさんだというのが分かって、話がしやすくなって結びつきも生まれてくるのではないだろうかという意見も出た。あいさつをしてくださるボランティアを募ってみればどうか。今もボランティアの方が何人かいらっしゃるが高齢化してきている。そういう状況があるので、もうちょっと動ける人が生まれてくると良いという意見も出た。地域の行事参加やボランティア体験について。地域のことに出る子どもたちがいるというのは良いことだが、行事を地域でする場合、土日に行うとは限らない。文化的な行事というか地域の風習的なものとかも今だんだん廃れてきている状況。昔は子どもがたくさん来ていたが、今はそういう訳にはなかなかいかないというなかで子どもも出てくれたらいいという意見もあった。町の清掃などでも、できるだけ子どもを連れて参加していけば、そこで何か生まれるのではないかと。以前一斉清掃というものがあったが、そういう中で子どもも一緒に出ていけたらいいのかなと。一斉清掃を作ってもいいかもしれない。そういうことを考えていってみたいではないかという意見もあった。

小椋部長（地域活性化部会）

地域活性化部会は、荒神神楽を見る会と振替休業日の地域体験の2つの項目をあげている。まずは荒神神楽を見る会、これについてコロナ禍なので今年の実施は無理だと考えている。来年の様子を見て来年これはしていきたいと思っている。小学生と中学生を対象に実施したい。合計120名くらい。先生を入れて多くても150名くらいなので、町の体育館でもそんなに密にならないんじゃないかと。基本的には来年するという前提に、学校と協議をしながらどういう方向でやっていくかを考えたい。ただ、見るだけではもったいないと思うので、道具とか衣装等々を触ったり、やってみたいなという子どもがあれば、太鼓をたたくとか笛を吹くとかいうようなことが出来るようになればいいかなと。学校と協議をしながら日程も含めてこの辺りも詰めていきたいと思っている。荒神神楽メンバーは、10名中6、7名が仕事をしているので、休日にしていただくとありがたい。こうふテレビと相談をしながら今まで撮ったビデオ等々もあるので、その辺を流してはどうかということも意見として出ている。振替休業日の地域体験、これは現在も行っておられるので、引き続きの事業ということになるかと思う。学校の意見も出していただきながら、社協と実施していただく。地域の方と協議をして内容を決めて、振替休業日にやる。11月に予定があるそうなので、それに向けて相談しながら進めていきたいと思っている。

会長 全体協議にうつらせていただく。学校行事支援部会の方では子どもさんと一緒に野菜作りが出来るのではなかろうかということがあった。応援していただく方は、勤めておられない方、子どもさんを迎えに来られる方とかがおられると思うが、そういった中で取り組みが出来れば今年度やりたいというお話だった。冬に向かっての野菜作りは野菜選定が難しいのではないかと。春の葉物野菜はなんとか出来るのではないかなと思って聞いた。そういったようなことも含め、野菜作りが出来たらということ。

健全育成部会はあいさつ運動をぜひしていきたいということで、ボランティアを募集してみたらどうかということだった。これについてはわりと取り組みやすいかなと思う。

地域活性化部会の振替休業日の事業はすでに社会福祉協議会がやっている。あとは学校のニーズを聞きながら、そして地域の方と協議しながら一緒に触れ合うことが出来たら。

今、それぞれの部会から一項目ずつ出していただいた。この中で実際にこれから半年間の中でやっていけるものということでみなさん方のご意見をいただけたらと思う。ご意見があれば。自分のところの引き続きの意見でも構わない。よろしくお願いします。

※神楽の視聴という話題が出たことから、こうふテレビを含め、学校でビデオ放映ができないか検討したが、現時点ではこうふテレビの放映時間、機器等の問題もあり、放映することは難しいということを確認した。

※野菜作りについて、住民の方への周知方法、栽培する野菜の種類や耕うんについて、その後の活動はどうするかなどいくつか検討課題が出されたが、児童も地域の方も野菜作りの希望者を募り、やれる範囲で取り組んでみるということになった。

※来年度の神楽を観る機会については、小中合同で土曜学習を活用する形で実施する方向

で検討することになった。また、一つのアイデアとして日野高と連携して上演するという意見も出された。

※あいさつ運動については、家庭での取り組みを充実させる、通学路に立って挨拶して下さるボランティアを募集する、多くの町民の方が参加しやすいよう、それぞれの地域の近くのバス停で実施するなどのアイデアが出された。また運動期間についても期間を決める、常時運動とするなどの意見が出された。ここで出た意見をもとに事務局や学校で協議し、方法を検討して実施するということを確認した。

会 長 では、この2つ（野菜作り、あいさつ運動）を今年は頑張ってやっていけたらと思う。何か他にみなさん方で次回に向けてでもいいし、今出た中でこういうのをしたらどうかという面白いような案があれば出していただけたら。特にないか。なかったら次へ。第4回学校運営協議会の開催についてというところで、事務局で案があれば。

事 務 局 次は、野菜作りクラブとか、一連のことが終わった段階で振り返りという形を持たせてもらえたらと思う。11月終わりから12月初めくらいに第4回を開かせていただけたらと思っているところ。期日が少し先になるので、近づいたら調整させていただくということで。だいたい11月下旬から12月上旬くらいに。

委 員 11月の終わりから12月の頭。それぞれの活動がある程度できた時にということ。

会 長 では、第4回の学校運営協議会は11月の終わりから12月の頭頃ということだったので、また日程を調整していただいて連絡をさせていただけたら。他に委員のみなさま方から何か。

事 務 局 今後の予定を。先ほど11月末から12月くらいに第4回という話をさせていただいた。あと2回予定をしている。第5回を1月終わりから2月くらい。学校運営協議会は学校評価の機能もあるので、学校運営についてそれぞれ学校が自己評価されたものをもとに、みなさんと協議いただくということを1月終わりから2月にかけて実施しようと思っている。それともう1つは、来年度の学校経営方針の承認が必要になるので、それを3月に。令和3年度の学校経営について3月くらいに協議をするということで、全部で6回開催するというつもりでいる。

※昨年度まで実施していた学校関係者評価委員会は、今年度から学校運営協議会がその役割を担うことから、学校関係者評価委員として委嘱していた学校評議員は置かないということについて確認した。

会 長 いろいろご協議いただいて今年度の取り組み事項もそれぞれ決めていただきありがとうございます。あとは学校や事務局にお任せしたような感じになったが、とりあえずスタートをきってあいさつ運動とか野菜作りとかそういうことでスタートしていきたい。今後も地域と共に子どもさんを一緒になって育てていこうという気持ちで取り組んでいきたい。学校コミュニティー・スクール、これが基本になっているので、その精神が地域と共に両方が育っていくと、地域も活性化していくということが原点になっていたと思うので。引

き続きよろしくお願ひしたい。本日は大変忙しい中お越しいただきありがとうございます。
た。

5 閉会